

日本のクルーズ市場の 持続的发展に向けた有識者検討会 (第1回)

令和7年2月21日

本検討会の設置について

目 的

クルーズ市場は、我が国の観光にとってニューフロンティアであり、今後の観光立国への貢献が期待。一方で、市場の間口・裾野を広げていくことが喫緊の課題。このためには、質量両面でクルーズ市場の多様化・高度化、個人旅行での利用に則したサービスの拡大などが必要。

こうしたことを踏まえ、今後のクルーズ人口拡大に向けた方策を、学識経験者・関係団体・有識者・行政機関を交えて議論する検討会を設置する。

検討事項(案)

- (1) コロナ禍後のクルーズ市場に対する現状の評価
- (2) クルーズ旅行に対する利用者意識の把握と分析
- (3) クルーズ未経験者等に対する訴求方策
- (4) 観光立国と両立したクルーズ市場の発展のあり方

スケジュール(想定)

- 第1回 事務局より状況説明・論点提示
- 第2回 各団体からの意見聴取・質疑応答
- 第3回 検討会とりまとめ

留意事項

- 本検討会では、現在の規制等の枠組を前提に、クルーズ人口の裾野拡大や多様化に向けて、ターゲットの設定や、クルーズ人口の取り込みのために取り得る方策を検討することを主眼とする。
- クルーズ旅行振興のポイントの一つである、受入環境(寄港地港湾や二次交通等)のあり方については、「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」(R7.2.7 全3回開催済)など、別の検討に委ねる。